

9月の安全運転のポイント 平成21年9月号

9月は、秋の全国交通安全運動が実施されます。交通安全を確保するためには、ドライバーの皆さんが、交通ルールや安全運転に関する知識を正しく理解しておくことが重要なポイントとなります。そこで今回は、交通ルールや安全運転の知識に関するクイズを作成しましたので、ご自分の理解度をチェックしてみてください。

A 次の各設問について、正しいものには○、誤っているものには×をつけてください。

- 1 赤色の灯火の点滅信号のときは、車両等は一時停止して安全を確認した後でなければ進行してはならない。
- 2 レストラン等に入るために歩道を横切るとき、明らかに歩行者がいなかった場合は一時停止をする必要はない。
- 3 図1の道路では、左折してAの施設に入ることはできるが、右折してBの施設に入ることはできない。
- 4 進路の前方が渋滞しているために、交差点内で停止し交差道路の車両等の通行を妨げるおそれがあるときは、青信号でも交差点に進入してはならない。
- 5 図2の標識は、車を運転している人が高齢運転者であることを示している。

図1

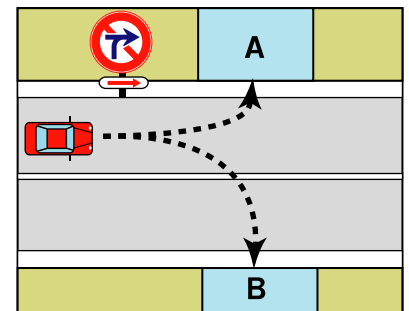
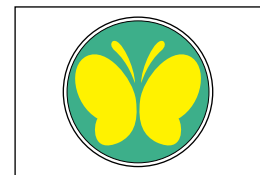


図2



B 次の各設問について、ア～ウのなかから正しいものを一つだけ選んでください。

- 1 酒酔い運転の違反点数は、(ア 15点 イ 25点 ウ 35点) である。
- 2 進路変更時の合図を出す時期は、進路変更する (ア 1秒前 イ 3秒前 ウ 5秒前) である。
- 3 道路標識や標示等で速度が指定されていない自動車専用道路における、普通乗用車の法定最高速度は時速 (ア 60キロ イ 80キロ ウ 100キロ) である。
- 4 速度が3倍になれば、衝突時の衝撃力は (ア 3倍 イ 6倍 ウ 9倍) になる。
- 5 時速60キロの場合、1秒間に車の走行する距離は、約 (ア 13m イ 15m ウ 17m) である。

C 次の各設問について、() に入る適切な語句を下欄から選んでください。

- 1 夜間は、周囲が暗く速度感が鈍り、実際よりも速度を (①) 感じやすい。
- 2 ヘッドライトの照射範囲は上向きで100m、下向きで (②) m である。
- 3 夜間に自車のヘッドライトと対向車のヘッドライトで、道路の中央付近の歩行者等が見えなくなることを (③) といい、対向車のヘッドライトを直接目に受けたとき、まぶしさのために一瞬見えなくなることを (④) という。

ア 速く イ 遅く ウ 50m エ 40m オ 眩惑 カ 暗順応 キ 明順応 ク 蒸発現象





正解と解説

A 1-○ 2-× 3-○ 4-○ 5-×

- 1 赤色の点滅信号の場合、歩行者は他の交通に注意して進行することができますが、車両等は停止位置において一時停止をして、安全を確認した後でなければ進行できません(道路交通法施行令第2条)。
- 2 「車両は、歩道等(歩道または路側帯)に入る直前で一時停止し、かつ、歩行者の通行を妨げないようにしなければならない」と定められており、歩行者がいない場合でも、歩道を横切るときは必ずその手前で一時停止をする必要があります(道路交通法第17条第2項)。
- 3 図1の道路には「車両横断禁止」の標識があります。この標識は、道路外の施設等に左折して入る場合を除いて、道路を横断してはならないことを示しています。したがって、左折してAの施設には入れますが、右折してBの施設に入ることはできません(道路標識、区画線及び道路標示に関する命令・別表第一・規制標識)。
- 4 「交通整理の行われている交差点に入ろうとする車両等は、交差点に入った場合に交差点内で停止することとなり、交差道路における車両等の通行の妨害となるおそれがあるときは、交差点に入ってはならない」と定められており、青信号でも交差点への進入はできません(道路交通法第50条第1項)。
- 5 この標識は、車を運転している人が聴覚障害者であることを示しています(道路交通法施行規則・別記様式)。このほかにも右に示した運転者標識があり、このような標識を表示している車に対して幅寄せや割り込みをしてはいけません。



初心運転者標識 	高齢運転者標識 
聴覚障害者標識 	身体障害者標識 

B 1-ウ 2-イ 3-ア 4-ウ 5-ウ

- 1 酒酔い運転の違反点数は35点であり、違反行為だけで最低3年間の免許取消となります。
- 2 進路変更時の合図を出す時期は、進路変更する3秒前です。なお、交差点右左折時の合図を出す時期は、右左折する地点の30m手前です。
- 3 高速自動車国道以外の道路における法定最高速度は、自動車の種類に関係なく時速60キロです。自動車専用道路は高速自動車国道ではありませんから、標識等で速度が指定されていない場合の最高速度は、一般道路と同じ時速60キロとなります。
- 4 衝撃力は速度の2乗に比例して大きくなりますから、速度が3倍になれば、 $3 \times 3 = 9$ 倍となります。速度の出し過ぎが死亡事故などの重大事故につながりやすいのは、このためです。
- 5 時速60キロの場合、1秒間に車が走行する距離は、 $60,000\text{m} \div 3600\text{秒} \approx 16.7\text{m}$ で、約17mとなります。



C 1-イ 2-エ 3-ク 4-オ

- 1 夜間は、速度を実際よりも遅く感じて、速度を出しがちになりますから、スピードメーターで速度をチェックするようにしましょう。
- 2 ヘッドライトの照射範囲は上向きで100m、下向きで40mです。下向きで走行する場合は、少なくともヘッドライトの照射範囲内で停止できる速度で走行しましょう。
- 3 蒸発現象とは、夜間に自車と対向車のライトにより、道路の中央付近の歩行者等が見えなくなることをいいます。道路の中央付近に動くものをみかけたときは、歩行者かもしれないと考えて十分注意しましょう。また、眩惑とは、対向車のライトを直接目に受けたとき、まぶしさのために一瞬見えなくなることをいいます。対向車のライトがまぶしいと感じたときは、視線を少し左に移して眩惑されないようにしましょう。
* 「暗順応」とは、明るい所から急に暗い所に入ったとき、最初は物がよく見えないものの、しばらくすると目が暗さに慣れて見えるようになってくることをいい、「明順応」とは、暗い所から急に明るい所に入ったとき、最初は物がよく見えないものの、しばらくすると目が明るさに慣れて見えるようになってくることをいいます。

「ご相談・お申込先」

《皆様の安心と安全のブレイントラスト（専門顧問グループ）》

株式会社ヤシロエージェンシーリミテッド 担当：八城一浩

〒107-0052東京都港区赤坂3-1-2 TEL：03-3582-4511